

警察庁丁公発第 57 号

令和 8 年 6 月 1 日

一般社団法人

レンタル収納スペース推進協議会 御中

警察庁警備局公安課長

重久 真毅



貸し倉庫事業者と全国警察によるテロ対策の強化に向けた協力について
(依頼)

謹啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より警察業務各般に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過去のテロ等重大事件では、市販の薬品・部材を利用し、アパートの一室や自宅において手製銃や爆発物を製造、保管した事例がありましたが、もしその工作音や異臭について早期に把握できていれば重大事件の発生を未然に防止できたかもしれないとの指摘があります。

このため、警察では、武器の製造時に出るような異音、異臭に関連する情報をお持ちの方々に警察への通報を呼び掛けており、昨年春以降は、この種の情報に接することが多いと思われる不動産業界の皆さまに協力を依頼してきたところ、今般、貸し倉庫事業者の皆さまにも改めて協力をお願いしたいと存じます。

実際、過去には、自宅付近に賃借した貸し倉庫で、火薬の製造・保管を行った事案や、暴力団員等が貸し倉庫に拳銃や実包、覚醒剤を隠匿していた事例が確認されております。貸し倉庫の中から金属音や工作音がする、薬品や火薬のにおいがする、利用者が長時間滞在して作業をしているなど、事業者の方々が不審に思ったことがあれば、各都道府県警察への情報提供をお願い申し上げます。この点について、各都道府県警察の担当者が貴協会の会員企業に個別の協力依頼に伺わせていただきますので、よろしくお取り計らいをお願い申し上げます。

今後も、テロ等重大事案への警戒を徹底する必要があるところ、迅速な情報共有について特段の御配慮をいただきますとともに、引き続き警察業務への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

謹白